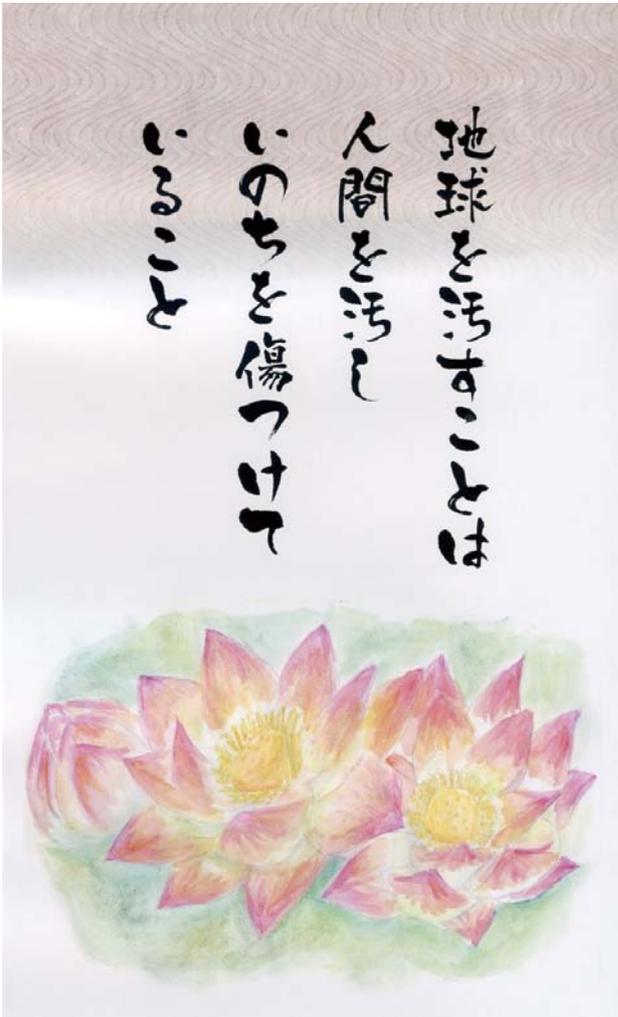


地球を汚すことは 人間を汚し

いのちを傷つけていること

先月に引き続き専如上人が昨年10月1日にお示し下さいました「念仏者の生き方」を掲載いたします。

「今日、世界にはテロや武力紛争、経済格差、地球温暖化、核物質の拡散、差別を含む人権の抑圧など、世界規模での人類の生存に関わる困難な問題が山積しています。これらの原因の根本は、ありのままの真実に背いて生きる私たちの無明煩惱にあります。もちろん、私たちはこの命を終える瞬間まで、我欲に執（とら）



われた煩惱具足（ぼんのうぐそく）の愚かな存在であり、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いできません。しかし、それでも仏法を依りどころとして生きていくことで、私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心になう生き方を目指し、精一杯（せいいつぱい）努力させていただきます。ただ、人間になるのです。

国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧（ちえ）と慈悲（じひ）を正しく、わかりやすく伝え、そのお心になうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう。」

自分さえよければいいという生き方から、他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとする人生を歩んでいくのが「念仏者の生き方」です。